

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 メディカルケア	代表者	池尾深雪	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1人のニーズに合わせて地域の中で安心して暮らして頂けるよう、認知症の方や一人暮らしの方でも地域の人と共に支え合い、助け合い、心に届くサービスを提供している。</li> <li>・地域の小学校に出向いて、認知症サポーター養成講座を開催している。</li> <li>・隔月で地域交流会を開き、地域の方にボランティアさんの演奏や茶話会を楽しんでもらっている。</li> </ul>					
事業所名	ケアホーム なかそね	管理者	小島隆治							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	2人	0人	3人	0人	8人
項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画						
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の必要性と内容、その方法について周知する。</li> <li>・それぞれの項目に対する具体的な改善計画について、定期的に話し合いの場を設けて実践内容について評価する。</li> </ul>	<p>「自己評価の必要性と内容、その方法について周知する。」については実践できており、職員各自が項目ごとの自己評価と分析を行っている。</p> <p>「それぞれの項目に対する具体的な改善計画について、定期的に話し合いの場を設けて実践内容について評価する。」については、カンファレンスにて実施しているが、勤務形態上全員参加ができないため、議事録を残し情報共有を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで地域交流が減り地域の行事や情報がわかりづらくなっているが、運営推進会議や地域交流会で情報収集に努めていきたい。</li> <li>・自己評価は、職員にとっても事業所にとっても振り返りの機会であり改善の機会でもある。不足している部分を強化し改善していく。</li> <li>・カンファレンスを継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスにてスタッフ全員で意見を出し合い、利用者の状態・職員配置に即した改善を試行錯誤していく。</li> <li>・実施内容について定期的に評価し検討していく。</li> </ul>						
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみの家族様や出入りされている業者の方にホームの入りやすさや居心地などについてお聞きし、より良い環境を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族は、感染症予防対策の為、面会室のみの対応であった。</li> <li>・業者の方よりフロアは、古民家風で天井も高くゆったりしているとの感想を得た。</li> <li>・猛暑で庭の手入れに取り組みなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の花を活けてあるのは、季節を感じられてよい。</li> <li>・利用者フロアは、山小屋風のあたたかい雰囲気が感じられる。</li> <li>・職員だけでなく、利用者も一緒に下駄箱掃除などを行ってはどうか。</li> <li>・庭に花を植えてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流会に参加される近隣住民やボランティアの方からの意見を伺い、改善に役立てていく。</li> </ul>						
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に積極的に参加する、また、事業所が企画するイベントに地域の方に参加していただき、地域の皆様と交流する機会を持つ。</li> <li>・事業所に対する意見を直接お聞きし、その意見をもとに改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隔月で地域交流会を開催し地域の高齢の方にボランティアの演奏やお茶を飲みながらお喋りし地域の情報交換などの場として利用してもらっている。</li> <li>・地域で開いているサロンに利用者様とともに参加し音楽療法を提供しともに楽しんだ。今後も継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員として日頃より一人暮らしの方にかかわっている。この施設で開催されている地域交流会の時も近くに、このようにお出かけする場所があるのはいいなと思った。</li> <li>・飛び込みで「ここはどんな所ですか」と聞きに来られた方がいた。ようこそお越しくださいましたと中を見てもらい説明させて頂いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流会や施設行事の一環として、地域の素晴らしい趣味を持っている方に披露してもらったり、書道などの特技を教えてもらったりする場を設ける。</li> <li>・開かれた事業所として地域住民からの相談体制と周知方法を構築する。</li> </ul>						
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時見守り隊を再開し、地域の子供たちと顔なじみの関係を作る。</li> <li>・地域の方々や事業所利用者様からも情報収集し、地域資源マップを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開した近隣の曳山祭り見物に出かけた。</li> <li>・小学校の下校時に施設前にて見守り隊を再開した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員福祉推進員活動として社協より年6回助成があり、何をしようか考えている。老人クラブで作った独楽を紙芝居の後で子供に配ったり、月2回アルプスから体操やリハビリに来てもらったりしている。地域交流会での職員さんのギター演奏が良かったのでぜひ来てもらいたい。</li> <li>・利用者さんと町内の活動に参加し、こちらからも音楽療法などの提供をできればと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の下校時間に、施設前で利用者と見守り隊を行う。</li> <li>・地域の行事やイベントに利用者とともに参加する。</li> <li>・地域のサロンに利用者とともに参加し音楽療法や認知症予防体操などのレクリエーションを提供する。</li> </ul>						
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の議題「地域について」では、事業所もしくは地域の中の具体的な事例を提示し検討する。また、地域での取組み内容や事業所に対する意見や要望を聞く場とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議では、毎回事例を挙げてその利用者の支援までの経緯「その人らしい」生活を支えるための対応や推移、目標などを紹介している。包括、民生委員、利用者家族、地域メンバーより助言やアイデアをもらう事もある。</li> <li>・会議メンバーからの「こんな人がいるんですが」と会議で話し合う事もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気だった人が急に具合が悪くなるといざ何処に連絡すれば良いかわからない、誰が民生委員なのか知らないといった事が多い。民生委員としては、地域包括支援センターやケアホームなかそねさんが強い味方。</li> <li>・ひとり暮らしや在宅で支える限界を感じているご家庭などを地域全体で役割分担をして、一人ひとりが地域で生き生きと輝いて生活して頂けるよう支援していきたいと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で地域の心配な方の事例検討を行う。</li> <li>・地域の取組みに積極的に参加する。</li> </ul>						
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続計画(BCP)について、地域の方に提示し共有する。</li> <li>・火災訓練や防災訓練を定期的実施し、その内容を評価し地域の方に提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の元旦に大きな地震があり、津波による避難勧告が発令された。事業所は平屋であり、隣の関連施設の2Fへ避難した。これまで火災地震想定訓練は行っていたが、津波の想定は行っていなかった。ハザードマップにて水害による予想水位が2階でも大丈夫であることを確認した。</li> <li>・一人暮らし利用者の安否確認を行った。</li> <li>・事業所に警備保障会社の安否確認サービス(職員用)を導入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会で防災訓練をしなくてはいいが、なかなか実現出来ないでいる。正月の地震の際はどうしたか。</li> <li>・津波の避難勧告が出たので、同法人の隣の建物の2階へ利用者様を全員誘導した。エレベーターが使えなかったため男性職員がかけつけてくれ、2人介助で安全に気をつけながら階段を上った。この地域交流室の押し入れに備蓄品を常備してあるので、地域の方にも緊急時に活用していただきたいと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練に参加する。</li> <li>・災害時の避難場所、危険区域、ハザードマップや利用者の状況一覧を全職員が常に把握しておけるよう定期的に周知確認する。</li> </ul>						